

# 日本過酸化脂質・フリーラジカル学会 第30回大会

1. 会 頭：山本順寛 (東京工科大学バイオニクス学部 教授)
2. 期 日：2006年10月20日(金)～21日(土)
3. 会 場：東京工科大学 片柳研究所棟 (東京都八王子市)  
(〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 <http://www.teu.ac.jp/>)
4. 受 付：10月20日(金) 8時30分～
5. 参 加 費：5,000円 (懇親会費含む) 当日会場にて徴収。
6. 一 般 講 演：地下1階大ホール
  - 1) 発表時間は、15分 (発表12分 / 討論3分) です。時間厳守でお願いします。
  - 2) 液晶プロジェクターによるPCプレゼンテーションです。
  - 3) データはUSBメモリーもしくはCD-ROMでご持参下さい。(使用ソフトは、Power Pointに限ります。)
  - 4) ご発表の1時間前までに発表受付をお済ませの上、文字ずれなどが無く、正常に作動することを、会場の設備でご確認下さい。ご自身のPC持参の場合も必ず作動をご確認下さい。
7. ポ ス タ ー：1階エントランス
  - 1) サイズ：H1900mm×W1000mm (上部に演題名・氏名・所属を明記)
  - 2) 貼 付：ポスター受付にて受付を行い、第1日目 (10/20) 09:00～12:00の間に完了して下さい。
  - 3) 討 論：第1日目 (10/20) 15:30～17:40
    - 1 題 各5分発表、3分討論を目安
    - 全6セッションを2セッションずつ同時並行で3つの時間帯で行います。
    - セッション1 / 2 15:30～16:10
    - セッション3 / 4 16:10～16:50
    - セッション5 / 6 16:50～17:40
  - 4) 撤 去：第2日目 (10/21) 15:00～16:20  
以降に残ったポスターは返送しかねますので、ご注意下さい。

ポスターサイズサンプル

演題番号  
(貼付済)

演題名、氏名 (演者に)、所属

190cm

100cm

8. 特別プログラム：地下1階大ホール

シンポジウム：10月20日(金) 13:10 - 15:10

公開シンポジウム：10月21日(土) 09:30 - 12:00

9. 関連集会：

評議員会：20日(木) 12:00 - 13:00 片柳研究所棟 15階 「教授会室」

総会：20日(木) 13:00 - 13:10 " 地下1階大ホール【講演会場】

懇親会：20日(木) 17:40 - 19:30 " 16階

10. 宿泊：

大会では特にお手配いたしていませんので、各自お手配下さい。

【問い合わせ先】

第30回大会運営委員会事務局：山本順寛（東京工科大学バイオニクス学部）

〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 東京工科大学バイオニクス学部

Tel & Fax: 0426-37-2918 E-mail: <junkan@bs.teu.ac.jp>

日本過酸化脂質・フリーラジカル学会事務局（演題募集に関するお問い合わせ）

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番

京都府立医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学教室

Tel : 075-251-5504 Fax : 075-252-3721 e-mail : jlpfr@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www2.kpu-m.ac.jp/firstmed/G35.html>

# 日 程 表

10月20日(金)

10月21日(土)

	8:55~9:00 開会の辞
9:00	9:00~10:00 一般講演 シグナル伝達と生体防御 1~4 座長: 藤井 順逸
10:00	10:00~11:00 一般講演 過酸化脂質・活性酸素の評価 5~8 座長: 吉田 康一
11:00	11:00~12:00 一般講演 酸化ストレスと病態 9~12 座長: 安西 和紀
12:00	12:00~13:00 昼食休憩・評議員会
13:00	13:00~13:10 総 会
13:10	13:10~15:10 シンポジウム S1~S4 「日本過酸化脂質・フリーラジカル学会の歴史と今後の展望」 吉川敏一 「世界初のフリーラジカル消去薬エダラボン登場の意義」 山本順寛 「網羅的代謝解析技術による「見える」化された Gas Biologyの推進と展開」 末松 誠 「フリーラジカル研究の新たな展開: バイオスピ ンとシグナル伝達」 赤池孝章
15:10	15:10~15:30 休 憩
15:30	15:30~17:30 ポスターセッション 1~6 座長: 竹腰 進 野口 範子 今井 浩孝 小城 勝相 李 昌一 岡田 太
17:40	懇親会 (16階)

9:30	9:30~12:00 公開シンポジウム SS1~SS3 「新生児とフリーラジカル」 戸苅 創 「臓器移植と酸化ストレス」 藤堂 省 「ラジカルと遺伝子の仕組みを心と知能障害の 蘇生治療に活かす new road」 林 成之 コメンテーター 井上正康
12:00	12:00~13:00 昼 食
13:00	13:00~13:30 学会賞受賞講演
13:30	13:30~14:30 ミニシンポ 酸化ストレスによる生体分子の修飾 13~16 座長: 宮田直樹・内藤裕二
14:30	14:30~15:15 一般講演 神経細胞保護と抗酸化 17~19 座長: 浦野 四郎
15:15	15:15~16:00 一般講演 抗酸化剤とその評価 20~22 座長: 芳野 恭士
	16:00-16:05 閉会の辞

※講演会場:

東京工科大学片柳研究所棟  
地下1階 大ホール

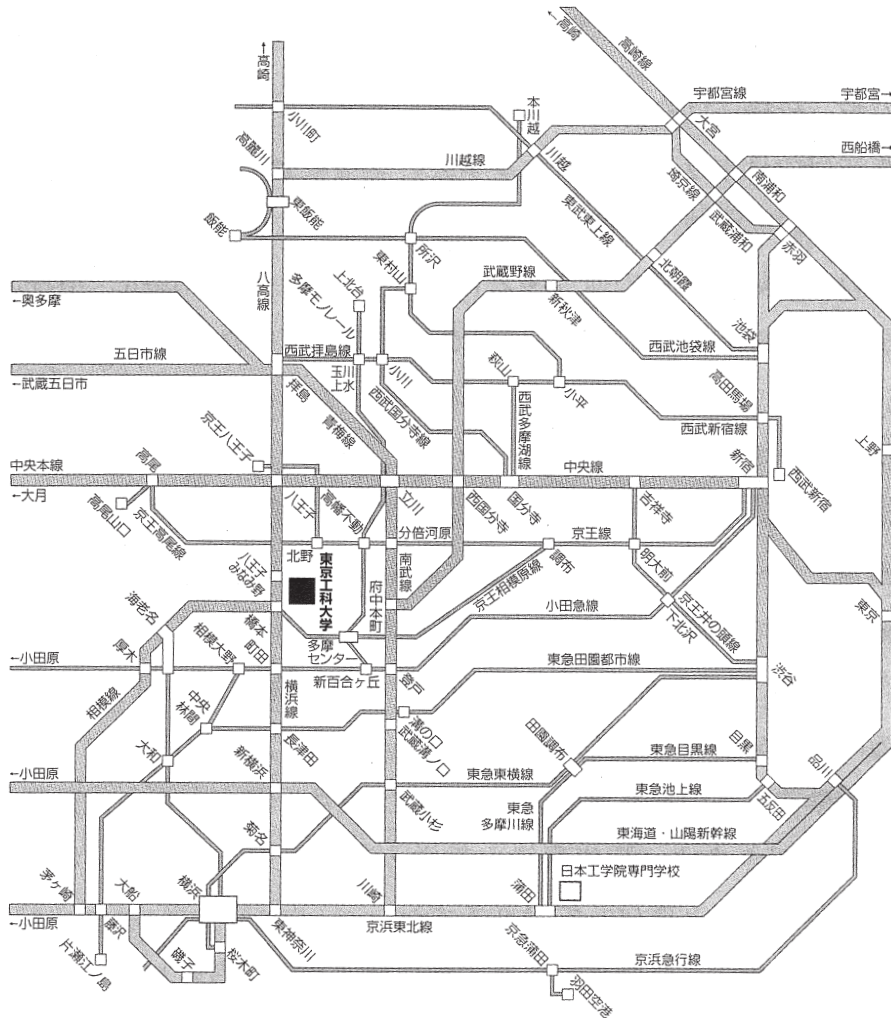
※ポスター会場: 1階ホール

貼付: 10/20 9:00~12:00

撤去: 10/21 15:00~16:20

# 会場へのご案内

## ●JR八王子みなみ野までの所要時間とアクセス

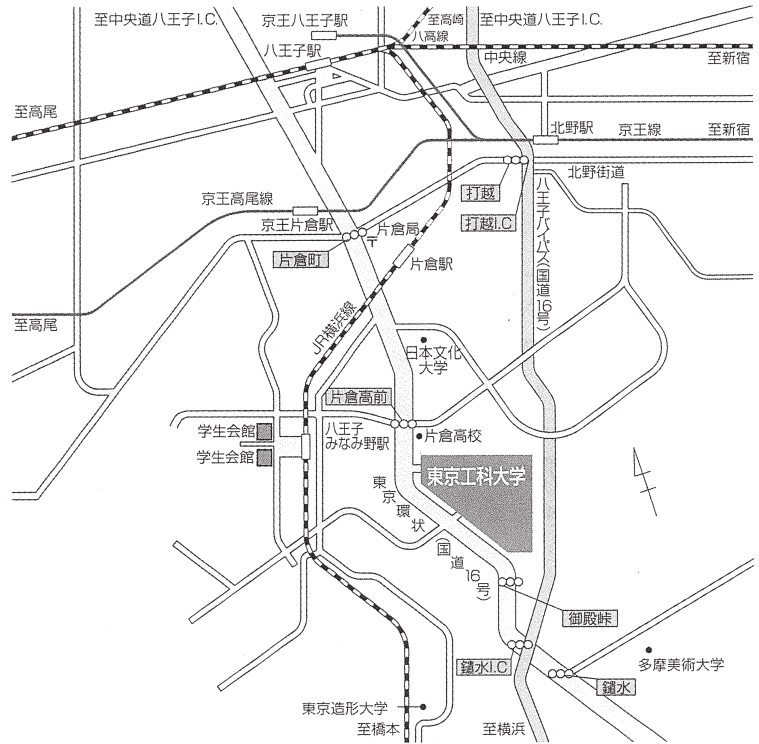


- 東京駅から約70分(乗り換え1回)  
東京【JR中央線】⇒八王子【JR横浜線】⇒八王子みなみ野
- 上野駅から約75分(乗り換え2回)  
上野【JR山手線】⇒神田【JR中央線】⇒八王子【JR横浜線】⇒八王子みなみ野
- 新宿駅から約60分(乗り換え1回)  
新宿【JR中央線】⇒八王子【JR横浜線】⇒八王子みなみ野
- 横浜駅から約50分(乗り換え1回)  
横浜【JR京浜東北線】⇒東神奈川【JR横浜線】⇒八王子みなみ野
- 新横浜駅から約40分(乗り換えなし)  
新横浜【JR横浜線】⇒八王子みなみ野
- 大宮駅から約90分(乗り換え3回)  
大宮【JR京浜東北線】⇒南浦和【JR武蔵野線】⇒西国分寺【JR中央線】⇒八王子【JR横浜線】⇒八王子みなみ野
- 羽田空港から約110分  
羽田空港【京浜急行線】⇒品川【JR山手線】⇒新宿【JR中央線】⇒八王子【JR横浜線】⇒八王子みなみ野

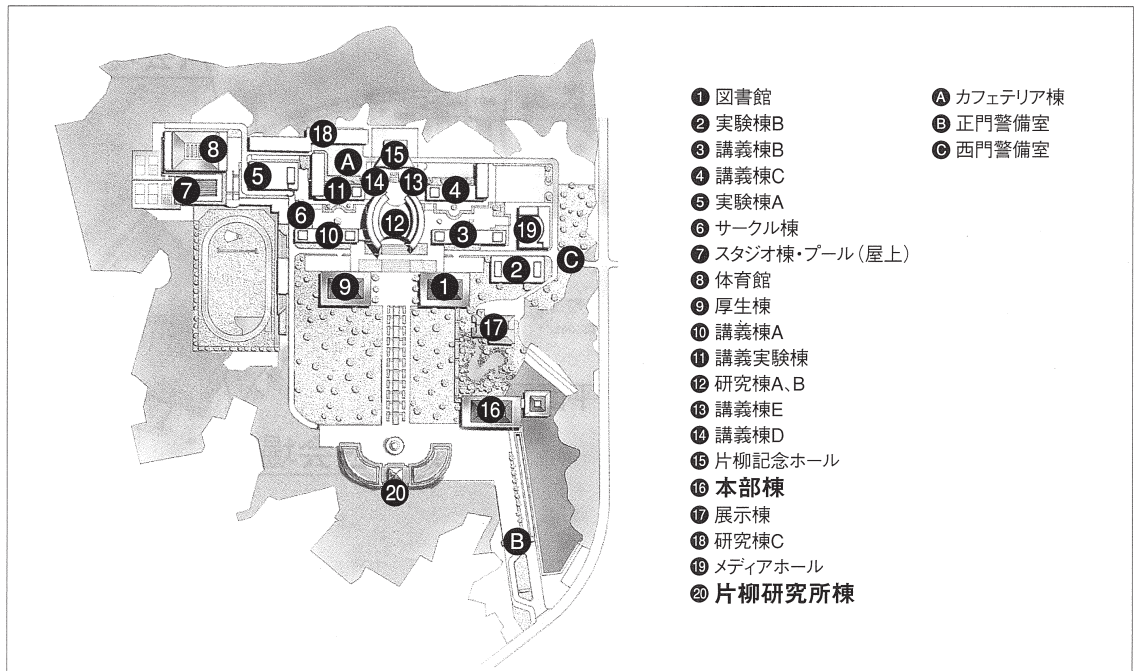
## ● 本学までの交通機関

JR横浜線「八王子みなみ野駅」下車、東口より国道16号線方面へ徒歩15分。

また、駅西口方面からスクールバス約5分（無料）をご利用いただけます。その他、八王子駅からタクシーで約15分（1,200円程度）でもご来場いただけます。



## ● 校舎案内図



*MEMO*

## 特別プログラム

**シンポジウム 1** 第 1 日 (10/20) 13:10 - 15:10

「過酸化脂質・フリーラジカル研究の未来」

- S1** 日本過酸化脂質・フリーラジカル学会の歴史と今後の展望  
吉川敏一 (京都府立医科大学大学院医学研究科生体機能制御学)
- S2** 世界初のフリーラジカル消去薬エダラボン登場の意義  
山本順寛 (東京工科大学バイオニクス学部)
- S3** 網羅的代謝解析技術による「見える」化されたGas Biologyの推進と展開  
末松 誠 (慶應義塾大学医学部医化学教室)
- S4** フリーラジカル研究の新たな展開：バイオスピンとシグナル伝達  
赤池孝章 (熊本大学大学院医学薬学研究部微生物学分野)

**公開シンポジウム** 第 2 日 (10/21) 09:30 - 12:00

「生体危機とフリーラジカル」

- SS1** 新生児とフリーラジカル  
戸苅 創 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野)
- SS2** 臓器移植と酸化ストレス  
藤堂 省 (北海道大学大学院医学研究科 消化器外科・一般外科)
- SS3** ラジカルと遺伝子の仕組みを心と知能障害の蘇生治療に活かす new road  
林 成之 (日本大学大学院・総合科学研究科)
- コメンテーター 井上正康 (大阪市立大学医学部)

## 第1日 10月20日 (金)

8:55-9:00 開会の辞

9:00-10:00 一般講演 : シグナル伝達と生体防御

座長: 藤井 順逸

- 1 BIAcore 装置を用いた過酸化ジアシルグリセロール PKC 活性化作用の解析  
竹腰 進<sup>1</sup>、神林康弘<sup>2</sup>、山本順寛<sup>3</sup>、長村義之<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東海大学医学部、<sup>2</sup>金沢大学医学部、<sup>3</sup>東京工科大学 バイオニクス学部)
- 2 PHGPx 欠損受精卵は発生過程において I C M の形成ができない  
今井浩孝、鈴木利幸、鈴木絢子、八角奈緒、中川靖一 (北里大学薬学部衛生化学)
- 3 Proton pump inhibitor (Lansoprazole) による酸分泌抑制非依存性抗炎症作用における Heme oxygenase-1 の関与  
高木智久<sup>1</sup>、内藤裕二<sup>2</sup>、石井剛志<sup>3</sup>、梶川洋和<sup>3</sup>、赤桐里美<sup>3</sup>、半田 修<sup>1</sup>、古倉 聡<sup>1</sup>、市川 寛<sup>3</sup>、吉田憲正<sup>4</sup>、吉川敏一<sup>1,2,3</sup>、伊東 健<sup>5</sup>、松井裕史<sup>6</sup> ( <sup>1</sup>京都府立医科大学 生体安全医学講座、<sup>2</sup>京都府立医科大学 生体機能分析医学講座、<sup>3</sup>京都府立医科大学 生体機能制御学講座、<sup>4</sup>京都府立医科大学 消化器病態制御学講座、<sup>5</sup>筑波大学 分子発生生物学、<sup>6</sup>筑波大学 人間総合医学研究科)
- 4 脂質酸化物によるグルタミン酸誘導性神経細胞死の抑制  
斎藤芳郎、西尾敬子、小川陽子、吉田康一、二木鋭雄 (産総研・ヒューマンストレスシグナル研究センター)

10:00-11:00 一般講演 : 過酸化脂質・活性酸素の評価

座長: 吉田 康一

- 5 改良FOX法による過酸化脂質の簡易定量  
福澤健治、佐野真純、道倉亜実、柴田 瑩、徳村 彰 (徳島大学大学院・ヘルスバイオサイエンス・衛生薬学)
- 6 脳組織生切片の活性酸素の可視化と加齢変化  
佐々木徹、海野けい子<sup>1</sup>、田原正一、金子孝夫 (都老人研・老化ゲノムバイオマーカー研究チーム レドックス制御、<sup>1</sup>静岡県大薬・生物薬品化学)
- 7 全合成型活性酸素種センサーの構築と in vivo 応用  
湯浅 真 (東京理科大学 理工学部・総合研究機構)
- 8 流れストレスによる遺伝子の発現メカニズムにおける活性酸素の寄与  
高部稚子<sup>1</sup>、藤 栄治<sup>2</sup>、児玉龍彦<sup>1</sup>、野口範子<sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup>東京大学先端科学技術研究センター、<sup>2</sup>筑波大学 院社会医学系、<sup>3</sup>同志社大学工学部)



11 : 00 - 12 : 00      **一般講演    : 酸化ストレスと病態**

座長 : 安西 和紀

9 赤血球の酸化ストレスは貧血ならびに自己免疫の原因となる

井内良仁<sup>1</sup>、岡田 太<sup>1</sup>、小沼邦重<sup>1</sup>、小林正伸<sup>2</sup>、藤井順逸<sup>1</sup> (<sup>1</sup>山形大院医・生命環境医科学・生体分子機能学、<sup>2</sup>北海道大・遺伝子病制御研)

10 炎症細胞由来フリーラジカルの発癌・悪性化に占める役割

岡田 太<sup>1</sup>、井内良仁<sup>1</sup>、藤井順逸<sup>1</sup>、小林正伸<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山形大・院医・生体分子機能学、<sup>2</sup>北海道大・遺伝子病制御研)

11 心筋梗塞後リモデリング過程における酸化ストレスの検討

井手友美、大和真由実、井上敬測、内海英雄、筒井裕之、砂川賢二 (九州大学病院循環器内科、大学院薬学研究院、北海道大学循環器内科)

12 血漿セラミドとLDL及びその酸化物との関係

市 育代<sup>1</sup>、中原佳代子<sup>1</sup>、宮下弥生<sup>2</sup>、日高篤子<sup>1</sup>、沓掛佐保子<sup>1</sup>、井上佳奈<sup>1</sup>、三輪宜一<sup>2</sup>、丸山太郎<sup>3</sup>、都島基夫<sup>4</sup>、小城勝相<sup>1</sup> (<sup>1</sup>奈良女大・食物栄養、<sup>2</sup>九大院・医、<sup>3</sup>埼玉社会保険病院、<sup>4</sup>国際医療福祉大学熱海病院)

12 : 00 - 13 : 00      **昼食休憩 (評議員会)**

13 : 00 - 13 : 10      **総      会 (日本過酸化脂質・フリーラジカル学会)**

13 : 10 - 15 : 10      **シンポジウム 1 「過酸化脂質・フリーラジカル研究の未来」**

座長 : 嵯峨井 勝・福澤 健治

S 1 日本過酸化脂質・フリーラジカル学会の歴史と今後の展望

吉川敏一 (京都府立医科大学大学院医学研究科生体機能制御学)

S 2 世界初のフリーラジカル消去薬エダラボン登場の意義

山本順寛 (東京工科大学バイオニクス学部)

S 3 網羅的代謝解析技術による「見える」化されたGas Biologyの推進と展開

末松 誠 (慶應義塾大学医学部医化学教室)

S 4 フリーラジカル研究の新たな展開 : バイオスピンとシグナル伝達

赤池孝章 (熊本大学大学院医学薬学研究部 微生物学分野)

15 : 10 - 15 : 30      **休      憩**

15 : 30 - 16 : 10

## ポスターセッション 1

座長：竹腰 進

- P-1 好酸球活性化マーカーであるプロモチロシンを認識する抗体の作成  
神林康弘<sup>1</sup>、人見嘉哲<sup>1</sup>、竹本 圭<sup>1,2</sup>、荻野景規<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>金沢大学大学院 医学系研究科 環境生態医学、<sup>2</sup>岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 公衆衛生学)
- P-2 ラドン温泉療法による抗酸化機能の亢進と生体内酸化傷害（適応症）の緩和に関する最近の研究例  
山岡聖典、光延文裕、花元克巳、片岡隆浩（岡山大・医）
- P-3 イソプレノミクスを基盤とするプレニル化フェルラ酸の分子設計とLDL抗酸化活性  
宇都義浩、大友直紀、小山大輔、大津木護、堀 均（徳島大院・工）
- P-4 酸化ストレスによる遺伝子発現変化：ビタミンE抗酸化作用のもう一つの機序について  
李 文華<sup>1</sup>、野口範子<sup>2</sup>、豊國伸哉<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都大学医学研究科基礎病態学講座病態生物医学専攻、<sup>2</sup>同志社大学工学部環境システム学科)

## ポスターセッション 2

座長：野口 範子

- P-5 2型糖尿病モデル NSY マウスにおけるセレンの耐糖能改善効果と酸化的ストレス防御系との関連性  
上野 仁、清水 良、坂崎文俊、奥野智史、中室克彦（摂南大学・薬学部）
- P-6 過酸化水素耐性細胞で高発現している遺伝子の検索とその機能解析  
鈴木俊英、北加代子、越智崇文（帝京大・薬）
- P-7 脳虚血後反応性充血へおよぼす予防的・治療的脳低温の効果  
國松輝仁、山下 杏、李 昌一<sup>1</sup>、吉田和市（神奈川歯科大学学生体管理医学講座麻酔科学，同薬理学<sup>1</sup>）
- P-8 脂質過酸化に由来するリジン付加体の糖尿病における酸化ストレスマーカーとしての有用性について  
日坂真輔<sup>1</sup>、堂崎奈津子<sup>1</sup>、北元憲利<sup>1</sup>、吉田晃浩<sup>2</sup>、内藤通孝<sup>3</sup>、丸山和佳子<sup>4</sup>、大澤俊彦<sup>5</sup>、加藤陽二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>兵庫県立大院・環境人間、<sup>2</sup>中津川市民病院、<sup>3</sup>相山女学園大院・生活科学、<sup>4</sup>長寿医療センター、<sup>5</sup>名古屋大院・生命農学)

16 : 10 - 16 : 50

## ポスターセッション 3

座長：今井 浩孝

- P-9 花ユズノ抗酸化作用と抗マウス胃炎作用について  
芳野恭士<sup>1</sup>、山下祐司<sup>1</sup>、中山鷹秀<sup>2</sup>、杉山和美<sup>3</sup>、古賀邦正<sup>4</sup> (<sup>1</sup>沼津高専、<sup>2</sup>株山信、<sup>3</sup>静岡県柑橘試験場、<sup>4</sup>東海大)

- P-10 成長ホルモンを欠如する自然発症矮小ラット (SDR) の寿命延長と酸化ストレス耐性の亢進  
金子孝夫<sup>1</sup>、新海 正<sup>1</sup>、佐々木徹<sup>1</sup>、田原正一<sup>1</sup>、松本茂信<sup>1</sup>、倉本和直<sup>2</sup>、近藤 昊<sup>3</sup> (都老人研・<sup>1</sup>レドックス制御、<sup>2</sup>動物施設、<sup>3</sup>人間総合科学大学・人間科学科)
- P-11 光化学療法 (PUVA) に伴う DNA 酸化損傷を防御する抗酸化物質の検討  
田原正一、金子孝夫 (都老人研・老化ゲノムバイオマーカー研究チーム レドックス制御)
- P-12 紫外線照射下での化粧品添加物の皮膚ケラチノサイトに対する毒性発現の検討  
半田 修、古倉 聡、水島かつら、高木智久、市川 寛<sup>1</sup>、内藤裕二、谷川 徹<sup>2</sup>、吉田憲正、吉川敏一 (京都府立医科大学、京都府立大学<sup>1</sup>、同志社大学<sup>2</sup>)

## ポスターセッション 4

座長：小城 勝相

- P-13 カカオハスクの抗酸化及び抗ウイルス活性の検討  
佐藤和恵<sup>1</sup>、清水 藍<sup>2</sup>、矢野和義<sup>2</sup>、中島秀喜<sup>3</sup>、坂上 宏<sup>4</sup>、前田祐一<sup>5</sup>、大澤謙二<sup>5</sup>、塩田清二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>昭和大医、<sup>2</sup>東京工科大、<sup>3</sup>聖マリアンヌ医、<sup>4</sup>明海大歯、<sup>5</sup>㈱ロッセ中央研究所)
- P-14 内部標準法による血中過酸化脂質の HPLC 測定  
恵 淑萍<sup>1</sup>、村井 毅<sup>1</sup>、千葉仁志<sup>2</sup>、黒澤隆夫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北海道医療大学薬学部薬品分析化学教室、<sup>2</sup>北海道大学附属病院検査部)
- P-15 酸化的ストレスによる HPA 軸ホルモン分泌異常と認識機能障害  
浦野四郎<sup>1</sup>、佐藤嘉哉<sup>1</sup>、高橋武幸<sup>1</sup>、大河原さよ子<sup>1</sup>、下条美那子<sup>1</sup>、河合勇弥<sup>1</sup>、新海 正<sup>2</sup>、阿部皓一<sup>3</sup> (<sup>1</sup>芝浦工大・生化学、<sup>2</sup>都老人研、<sup>3</sup>エーザイ)
- P-16 アルテピリン C およびその誘導体のクミルペルオキシラジカル消去活性  
中西郁夫<sup>1,2</sup>、宇都義浩<sup>3</sup>、大久保 敬<sup>2</sup>、川島知憲<sup>1,2,4</sup>、Sushma Manda<sup>1</sup>、金澤秀子<sup>4</sup>、永澤秀子<sup>5</sup>、堀 均<sup>3</sup>、奥田晴宏<sup>6</sup>、福原 潔<sup>6</sup>、小澤俊彦<sup>1,7</sup>、伊古田暢夫<sup>1</sup>、福住俊一<sup>2</sup>、安西和紀<sup>1</sup> (<sup>1</sup>放医研、<sup>2</sup>阪大院工SORST、<sup>3</sup>徳島大工、<sup>4</sup>共立薬大、<sup>5</sup>岐阜薬大、<sup>6</sup>国立衛研、<sup>7</sup>東北大未来研)

16 : 50 - 17 : 40

## ポスターセッション 5

座長：李 昌一

- P-17 脂質酸化物により誘導される酸化ストレス耐性の誘導  
小川陽子<sup>1</sup>、斎藤芳郎<sup>1</sup>、Zhi-Hua Chen<sup>1</sup>、西尾敬子<sup>1</sup>、吉田康一<sup>1</sup>、野口範子<sup>2</sup>、二木鋭雄<sup>1</sup> (<sup>1</sup>産総研・ヒューマンストレスシグナル研究センター、<sup>2</sup>同志社大学 環境システム学科)
- P-18 細胞内酸化ストレス測定のための新規な脂質膜分布型TEMPO誘導体の開発  
中川秀彦、伴 静華、鈴木孝禎、宮田直樹 (名古屋市立大学大学院薬学研究科)
- P-19 発芽野菜 (スプラウト) の生育に伴う抗酸化成分の日周変動  
清田マキ<sup>1</sup>、室伏麻美<sup>1</sup>、蛭川恵衣<sup>1</sup>、松下亜由子<sup>1</sup>、松本沙織<sup>1</sup>、森本千秋<sup>1</sup>、磯田麻由美<sup>1</sup>、中里美早紀<sup>1</sup>、小泉典子<sup>1</sup>、中村 薫<sup>2</sup> (<sup>1</sup>相模女子大食物学科、<sup>2</sup>京都大学化学研究所)

- P-20 精油の抗酸化能の検討  
佐藤和恵<sup>1</sup>、青 暢子<sup>2</sup>、塩田清二<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>昭和大学医学部第一解剖学、<sup>2</sup>昭和大学腫瘍分子生物学研究所)
- P-21 プラズマローゲンの活性種特異的酸化反応によって生じる長鎖アルデヒドの生成意義と GC-MS 分析法の確立  
河合慶親、大草智代、清川 瞳、寺尾純二 (徳島大・院ヘルスバイオサイエンス研究部・食品機能学)

## ポスターセッション 6

座長：岡田 太

- P-22 エダラボンのパーオキシナイトライトに対する優れた反応性と4-NO<sub>2</sub>- および4-NO<sub>2</sub>-付加体の生成  
藤沢章雄、山本順寛 (東京工科大学 バイオニクス学部)
- P-23 中大脳動脈閉塞再開通ラットの酸化ストレスとエダラボン投与効果  
酸化ストレスマーカーとしての遊離脂肪酸組成変動解析の有用性  
柳沢 真<sup>1</sup>、渡邊和俊<sup>2</sup>、高橋千寿子<sup>2</sup>、田中正彦<sup>2</sup>、Wei Tak Nyou<sup>1</sup>、加柴美里<sup>3</sup>、山本順寛<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>東京大学工学部、<sup>2</sup>三菱ウェルファーマ株式会社、<sup>3</sup>東京工科大学バイオニクス学部)
- P-24 原発性胆汁性肝硬変および原発性硬化性胆管炎におけるコエンザイムQ10の投与例  
阿部敏紀<sup>1</sup>、栗原 毅<sup>3</sup>、上川床裕<sup>1</sup>、秋山茂明<sup>1</sup>、小出浩久<sup>1</sup>、瀬戸本賢<sup>1</sup>、松井英三郎<sup>1</sup>、渡辺泰博<sup>2</sup>、上崎道子<sup>1</sup>、谷野 豊<sup>4</sup>、山本順寛<sup>4</sup> (一心病院内科<sup>1</sup>、外科<sup>2</sup>、東京女子医科大学附属成人医学センター・戸塚ロイヤルクリニック<sup>3</sup>、東京工科大学バイオニクス学部<sup>4</sup>)
- P-25 肢帯型筋ジストロフィーおよび高CK血症におけるコエンザイムQ10の投与例  
阿部敏紀<sup>1</sup>、栗原 毅<sup>3</sup>、上川床裕<sup>1</sup>、秋山茂明<sup>1</sup>、小出浩久<sup>1</sup>、瀬戸本賢<sup>1</sup>、松井英三郎<sup>1</sup>、渡辺泰博<sup>2</sup>、上崎道子<sup>1</sup>、谷野 豊<sup>4</sup>、山本順寛<sup>4</sup> (一心病院内科<sup>1</sup>、外科<sup>2</sup>、東京女子医科大学附属成人医学センター・戸塚ロイヤルクリニック<sup>3</sup>、東京工科大学バイオニクス学部<sup>4</sup>)
- P-26 SHRの血圧上昇抑制とNOSの発現に及ぼすアズキ抽出物の影響について  
嵯峨井勝<sup>1</sup>、羽鳥有香<sup>1</sup>、野沢めぐみ<sup>1</sup>、堀 友花<sup>2</sup>、畑井朝子<sup>2</sup>、加藤 淳<sup>3</sup>、駒田亜衣<sup>1</sup>、佐藤伸<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>青森県立保健大・院・健康科学、<sup>2</sup>函館短大・食物栄養、<sup>3</sup>北海道十勝農試)

17:40 - 懇親会 (16階)

## 第2日 10月21日 (土)

### 9:30 - 12:00 公開シンポジウム「生体危機とフリーラジカル」

座長：吉川 敏一・山本 順寛

#### SS1 新生児とフリーラジカル

戸苅 創 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野)

#### SS2 臓器移植と酸化ストレス

藤堂 省 (北海道大学大学院医学研究科消化器外科・一般外科)

#### SS3 ラジカルと遺伝子の仕組みを心と知能障害の蘇生治療に活かす new road

林 成之 (日本大学大学院・総合科学研究科)

コメンテーター 井上正康 (大阪市立大学医学部)

### 12:00 - 13:00 昼食休憩

### 13:00 - 13:30 学会賞受賞講演

活性酸素・N 代謝を利用した生命現象の解明

佐藤英介 (大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学講座)

### 13:30 - 14:30 ミニシンポ：酸化ストレスによる生体分子の修飾

座長：宮田 直樹・内藤 裕二

#### 13 酸化 LDL 修飾アポBのLC-MS 解析

小浜孝士、板部洋之、菊池正樹、加藤里奈 (昭和大学薬学部 生物化学教室)

#### 14 脂質ヒドロペルオキシドによるドーパミン修飾に関する化学的研究

山田成臣<sup>1</sup>、土江愛和<sup>1</sup>、丸山和佳子<sup>2</sup>、大澤俊彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋大学大学院・生命農学、<sup>2</sup>国立長寿医療センター研究所・老年病研究部)

#### 15 ヒト Cu/Zn- スーパーオキシドジスムターゼの安定性に関する Cys111 の酸化について

藤原範子<sup>1</sup>、中の三弥子<sup>2</sup>、大河原知水<sup>1</sup>、江口裕伸<sup>1</sup>、吉原大作<sup>1</sup>、谷口直之<sup>3</sup>、鈴木敬一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>兵庫医大・生化学、<sup>2</sup>阪大・医・生化学、<sup>3</sup>阪大・微研・疾患糖鎖学)

#### 16 活性酸素によって生成するタンパク質カルボニルの特異的定量法の開発

赤川 貢<sup>1</sup>、佐々木大介<sup>2</sup>、石井善久<sup>3</sup>、黒田やよい<sup>2</sup>、山下まり<sup>2</sup>、内田浩三<sup>3</sup>、須山享三<sup>2,4</sup> (<sup>1</sup>大阪府大院・生命環境科学、<sup>2</sup>東北大院・農、<sup>3</sup>名古屋大院・生命農、<sup>4</sup>仙台大院・スポーツ科学)

14 : 30 - 15 : 15 一般講演 : 神経細胞保護と抗酸化

座長 : 浦野 四郎

17 ジヒドロベンゾフラン誘導体の神経細胞保護作用の検討

矢野 怜<sup>1</sup>、中西孝子<sup>1</sup>、内田誠一<sup>2</sup>、安原 一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>昭和大学医学部第二薬理学教室、<sup>2</sup>日本曹達株式会社小田原研究所)

18 エダラボンのフリーラジカル消去活性の溶媒・pH 依存性

藤井玲子、一村陽子、小原敬士、向井和男、佐藤和恵<sup>1</sup> (愛媛大理、昭和医大<sup>1</sup>)

19 6-OHDA による PC12 細胞アポトーシスと -リポ酸による抑制とその機構

藤田洋史<sup>1</sup>、沖村裕弥<sup>1</sup>、塩坂真彦<sup>1</sup>、佐藤英介<sup>2</sup>、赤木玲子<sup>3</sup>、井上正康<sup>2</sup>、内海耕慥<sup>1</sup>、佐々木順造<sup>1</sup> (<sup>1</sup>岡山大学大学院医歯薬研究科、<sup>2</sup>大阪市立大大学院医学研究科、<sup>3</sup>岡山県大栄養)

15 : 15 - 16 : 00 一般講演 : 抗酸化剤とその評価

座長 : 芳野 恭士

20 蒲鉾および魚肉ペプチドの電子スピン共鳴 (ESR) 法を用いた抗酸化能評価

前畑洋次郎<sup>1</sup>、吉野文彦<sup>1</sup>、小林 杏<sup>2</sup>、小松知子<sup>3</sup>、万建 栄<sup>4</sup>、本多和紀<sup>4</sup>、鈴木博晶<sup>4</sup>、李 昌一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>神奈川歯科大学学生体管理医学講座薬理学分野、<sup>2</sup>神奈川歯科大学学生体管理医学講座麻酔学分野、<sup>3</sup>神奈川歯科大学学生体管理医学講座障害者歯科学分野、<sup>4</sup>㈱鈴廣かまぼこ)

21 メラトニンによるアセトアミノフェン肝障害の抑制 : 抗酸化および抗炎症作用の関与

西田直史、松浦達也、森山千尋、大畑修三、持田晋輔、山田一夫 (鳥取大学医学部統合分子医化学、<sup>1</sup>麻酔・集中治療医学)

22 加齢の Coenzyme Q10のRedox 状態に与える影響の検討

和田裕雄<sup>1</sup>、萩原真一<sup>2</sup>、後藤 元<sup>1</sup>、山本順寛<sup>3</sup> (<sup>1</sup>杏林大学医学部呼吸器内科、<sup>2</sup>本田技研 & 自治医科大学呼吸器内科、<sup>3</sup>東京工科大学バイオニクス学部)

16 : 00 - 16 : 05 閉会の辞